【カクレクマノミ】

　オレンジ色に白い帯の柄が特徴のかわいらしい魚です。体長は１０ｃｍ程で、イソギンチャクをすみかとして暮らしています。イソギンチャクは強い刺胞毒を持つため、多くの魚にとって命とりですが、カクレクマノミはイソギンチャクの毒に耐性があるため、イソギンチャクと一緒に生きることが可能です。

【ツノダシ】

　熱帯の海のサンゴ礁や岩礁に生息しており、長く伸びた背びれが特徴の美しい魚です。体長は２５ｃｍ程に成長します。

【オトヒメエビ】

　体とひげは白色で、赤い帯の柄が特徴的な体長４ｃｍ程のエビです。鮮やかな体色と細長い触角や脚を広げた姿が、龍宮城のオトヒメを連想させることからこの名前がつけられました。

【オニイトマキエイ】

　マンタの愛称で親しまれている世界最大のエイです。主に熱帯のサンゴ礁に生息し、大きいものでは体の横幅８ｍ、体重３ｔにも達します。体が大きいためほとんど天敵がおらず、捕食される心配はあまりありません。